

## 運転士用タブレット端末の使用開始について

名古屋鉄道株式会社(本社:名古屋市中村区名駅 代表取締役社長 高崎裕樹)は、株式会社メイテツコム(本社:名古屋市中村区名駅南 代表取締役社長 山田和利)と共同開発した運転士業務用アプリを搭載したタブレット端末を8月17日より順次導入し、2023年度中に全線(築港線を除く)において使用を開始します。これにより、運転士の業務を支援することで、輸送障害時の対応力の向上およびご案内におけるサービス向上を図ります。

詳細は、下記のとおりです。

### 記

#### 1. 主な機能

##### (1) 運転士用時刻表の電子化

従来の紙製運転士用時刻表を廃止し、タブレット端末に運転士用時刻表データを配信します。これにより、輸送障害時においても迅速なご案内や対応を実現するとともに、紙の使用量を削減します。<別紙1>



【タブレットを用いた運転イメージ】

駅	一宮	津島	1980S	列車	業務開始
一宮			19:14		
津島	19:16		19:16		
刈谷	19:18		19:19		
二子	19:20		19:21		
新栄	19:22		19:28		
玉野	19:25		19:30		
山崎	19:32		19:32		
森上	19:34		19:36		
上凡	19:38		19:39		
九洲	19:40		19:41		
新栄	19:42		19:43		
六輪	19:45		19:45		
助方	19:47		19:47		
津島	19:50				

【アプリ画面イメージ】

##### (2) 情報共有アプリの導入拡大

既存の車掌用タブレット端末に搭載している情報共有アプリを運転士用タブレット端末にも搭載します。運転士自身が現場の写真や動画を即座に社内で共有できるようになり、車掌が乗務していないワンマン列車においても、異常時における情報共有の迅速化・正確性の向上を図ります。<別紙2>

##### (3) サービス向上

音声翻訳アプリや筆談アプリ等も搭載し、すべてのお客さまに安心して鉄道をご利用いただける環境を目指します。

#### 2. 導入時期 : 8月17日(木)より順次

#### 3. 導入線区と導入台数

導入線区 : 全線(築港線を除く) 導入台数 : 約500台

#### 4. その他

今後運転士用タブレット端末の機能を拡充するため、GPSを活用した運転士支援機能や情報伝達機能などを順次開発・搭載し、輸送品質の向上を図ります。また運転士用タブレット端末の導入にあわせて、既存の車掌用タブレット端末の導入線区を全線に拡大するとともに、紙製の車掌用時刻表についても電子化します。

本件は、名鉄グループ中期経営計画「Turn-Over2023 ～反転攻勢に向けて～」(2021～2023年度)の重点テーマに掲げる「交通事業の構造改革」の一環として取り組むものです。

以上

# 運転士時刻表の電子化【平常時】

現状：木枠ケース+紙カード+機械時計

導入後：タブレット端末のみ

掲載に制限があり  
乗換案内などは  
未掲載

担当勤務分の紙製  
運転士時刻表のみ  
を携行



機械時計の時刻  
合わせ・電池交換  
が必要

ダイヤ改正ごとに  
大量の時刻表  
印刷・誤植確認

乗換案内の掲載  
などの情報多様化

担当外の時刻表・  
乗換案内も確認  
可能



GPS時計のため  
時刻合わせ不要

ダイヤ改正時の  
印刷物の削減  
データ確認のみ

お客さまへの案内情報の充実／ダイヤ改正に関わる作業の省力化・省資源化

# 運転士時刻表の電子化【輸送障害発生時】

現状：手書きでカード作成（対応方の一例）



時刻だけでなく  
車両に関する特殊  
な扱いの有無など  
の確認も必要

普通		発	一宮	着	津島
		1980S	列車	19	時
一宮			14 <sup>00</sup>		
観音	16 <sup>20</sup>		16 <sup>50</sup>		
荏原	18 <sup>30</sup>		19 <sup>00</sup>		
二子	20 <sup>40</sup>		21 <sup>10</sup>		
萩原	22 <sup>50</sup>		28 <sup>10</sup>		
玉野	29 <sup>55</sup>		30 <sup>25</sup>		
山崎	32 <sup>10</sup>		32 <sup>40</sup>		

乗務員がダイヤ  
などをもとに  
手書きで作成

記入・確認が  
必要なため時間が  
かかる

導入後：ダウンロードデータを参照



車両に関する特殊  
な扱いの有無など  
も同時に確認可能

事前ダウンロード  
されている時刻表  
データを参照可能

普通		発	一宮	着	津島
		1980S	列車		
一宮			19:14 <sup>00</sup>		
観音	19:16 <sup>20</sup>		19:16 <sup>50</sup>		
荏原	19:18 <sup>30</sup>		19:19 <sup>00</sup>		
二子	19:20 <sup>40</sup>		19:21 <sup>10</sup>		
萩原	19:22 <sup>50</sup>		19:28 <sup>10</sup>		
玉野	19:29 <sup>55</sup>		19:30 <sup>25</sup>		
山崎	19:32 <sup>10</sup>		19:32 <sup>40</sup>		
森上	19:34 <sup>30</sup>		19:36 <sup>30</sup>		
上丸	19:38 <sup>40</sup>		19:39 <sup>10</sup>		
丸洲	19:40 <sup>50</sup>		19:41 <sup>20</sup>		
洲高	19:42 <sup>50</sup>		19:43 <sup>20</sup>		
六輪	19:45 <sup>00</sup>		19:45 <sup>30</sup>		
町方	19:47 <sup>00</sup>		19:47 <sup>30</sup>		

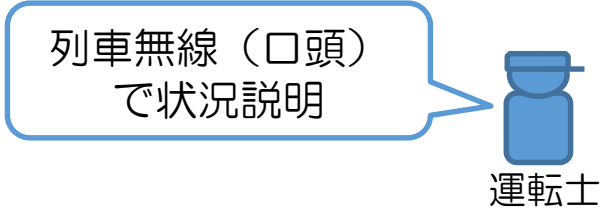
簡単な操作で  
すぐに表示可能

迅速な運転再開やお客さまへのご案内を実現／乗務員の負担軽減

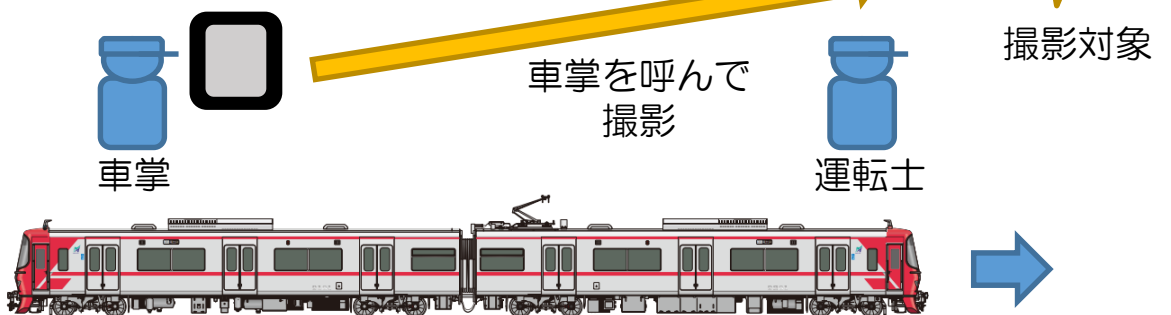
# 情報共有アプリの導入拡大

現状：一部線区の子掌タブレットに搭載

【ワンマン列車】

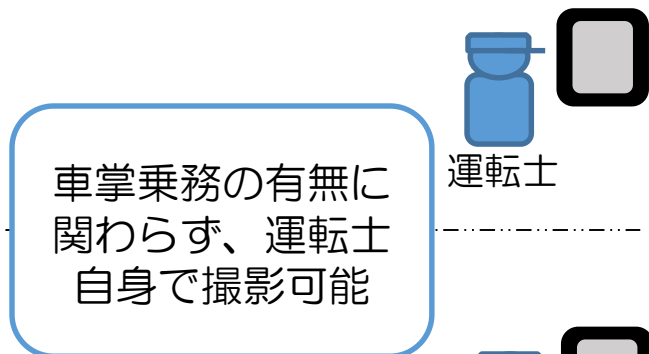


【ツーマン列車】

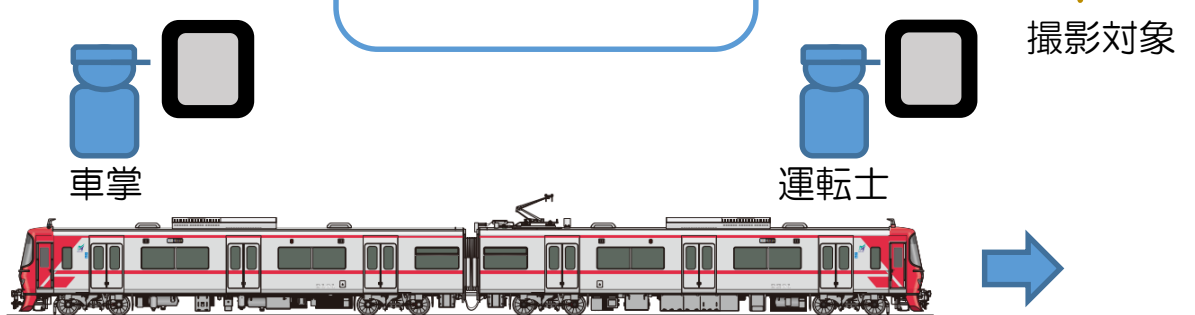


導入後：全線の運転士タブレット  
+ 全線の車掌タブレットに搭載

【ワンマン列車】



【ツーマン列車】



情報共有の迅速化・正確性向上による、異常時対応力の強化